

## 男女共同参画推進施策について

**議員** ①女性管理職登用目標の設定、また人事方針として、女性の積極的登用を明記しているのか。

対策の推進として、災害時に女性の果たす役割や女性を守る防災対策について、本市での取り組みについてたずねる。

**市長** ①第3次笠岡市ウイズプランで、一般行政職の課長級以上の女性の割合を平成29年度に20%にするという目標を掲げている。また、笠岡市人材育成基本方針に、職域の拡大、能力や実績に基づく公平な昇任を明記している。

②要介護者の把握や支援、初期消火や避難所の設営・運営などの場面で、地域の女性が大きな力を発揮されることが期待されていると考える。女性を守る対策としては、避難所を開設する際には、妊産婦などに配慮

して旅館やホテルを借り上げるなど多様な避難所の確保に努めることとし、さらに避難所を運営する際には、女性を含めてプライバシーの確保や男女ニーズの違いなどに十分配慮した運営をすることにしている。

女性を含めてプライバシーの確保や男女ニーズの違いなどに十分配慮した運営をすることにしている。

笠広域観光協会、雇用の分野等では井笠雇用開発協会において、広域での連携を行っている。

いろいろな課題がある中で、井笠圏域の連携は必要ではないかと思うが、どうか。

## 藏本隆文議員

隣接市・町との連携について

**議員** 東日本大震災において、隣接する自治体間の連携の重要性が改めて問われている。本市は隣接する自治体との連携に対してどのように考えているのか。広域としての公共事業、井笠圏域の経済連携等についてもたずねる。

**市長** 隣接市町と接続する道路・橋梁については、これまで以上に連携を密にして改修工事や長寿命化を図る必要があると考えている。井笠圏域の経済連携等については、観光の分野では井

市長 井笠圏の協議会の中で、課題についてしっかりと整理し、協議していく必要があると思っている。

**市長** 井笠圏の協議会の中から、業務を全部割り出し、まちづくり協議会の中で住民と話し合いをしながら、サービス、両方で行う協働

笠岡市における2020年問題について

**議員** 2020年問題と言

われているのが、環境問題と団塊の世代が高齢化に向かうことによる社会保障の問題である。今後の高齢者

として作つてもらいたいと思うが、どうか。

**政策部長** 非常に大きな問題ととらえている。そのような視点を持って、今後、地域に入つていく際に、そ

ういう取り組みを先進例何を受け持つか決めていく。



り戻そうと考えている。こ  
の計画の推進が、地域の皆  
さんとの協働につながるものと考えている。

**議員** 公共サービスの位置づけとして、市が行う行政整理し、協議していく必要があると思っている。

**活力ある福祉都市かさおかについて**

**議員** ①地域の活性化のため、笠岡市産業振興ビジョン（仮称）と笠岡市産業（中小企業）振興条例（仮称）の制定について改めてたずねる。

**市長** ①産業振興ビジョンを策定することは必要であると考えている。産業振興条例については、現在、岡山県が中小企業振興条例の素案を公表して、パブリックコメントを募集している。したがって、本市としては、産業振興条例の制定を行うかどうか、県の動向を見極

ういうものも検討していく  
たいと思う。

## 原田毅議員

ういうものも検討していく  
たいと思う。